

シクラメン

現 状																			
<p>1. 生産規模</p> <div style="text-align: center;"> <p>生産額・面積の推移</p> <table border="1"> <caption>生産額・面積の推移 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>面積 (ha)</th> <th>生産額 (億円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H6</td> <td>6.5</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>H11</td> <td>8.5</td> <td>7.5</td> </tr> <tr> <td>H16</td> <td>8.5</td> <td>6.5</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>8.5</td> <td>5.5</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>6.0</td> <td>3.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>農業及び水産業生産額実績</p> </div> <p>・平成26年の作付面積は590a、生産額3億円で、平成26年2月の雪害により、減少している。</p>	年度	面積 (ha)	生産額 (億円)	H6	6.5	4.5	H11	8.5	7.5	H16	8.5	6.5	H21	8.5	5.5	H26	6.0	3.5	<p>2. 生産者の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大鉢の生産が減少しガーデンシクラメンの生産が増加している。また、ニューギニアインパチエンスなど補完品目の組み合わせにより施設利用率を高めている。 <p>3. 県の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シクラメンのウイルス病 (INSV) を対象としたIPM技術の導入と防除技術の定着を支援してきた。 ・平成24年度から燃油価格高騰緊急対策事業を導入し、省エネ対策について支援を行った。 ・総合農業技術センターで、シクラメンピシウム根腐病の対策技術が確立されたため、研修会等で普及した。産地での病害発症は既に減少傾向である。 ・平成27年度から総合農業技術センターで、省エネルギー技術である変温管理技術の確立に取り組んでいる。
年度	面積 (ha)	生産額 (億円)																	
H6	6.5	4.5																	
H11	8.5	7.5																	
H16	8.5	6.5																	
H21	8.5	5.5																	
H26	6.0	3.5																	

課 題	対 策
<p>1【生産】</p> <p>1 -</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃油価格高騰の影響は、花き経営に大きな打撃を与えている。その対策として、ヒートポンプの導入やハウスの多層化等が進められているが、設備投資を要するため、導入は限定されている。そこで、既存施設を活用した燃料費の削減方法のひとつである変温管理技術の確立が求められている。 <p>1 -</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シクラメンピシウム根腐病の発生による成品率の低下等、生産が不安定になっていた。培養土、品種の変更、対策技術指導等により、病害発生は減少傾向となっているが、引き続き情報提供が求められている。 <p>1 -</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近の新品種は花色・花型重視であり成品率が必ずしも高くないため生産が不安定である。 <p>2【販売】</p> <p>2 -</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年末ギフトの需要期間が短くなる中で、ギフトとしての魅力をPRし、更なる販路拡大を図るため、産地情報、品種特性や管理方法などの商品情報を消費者や小売店に提供する必要がある。 	<p>1 -</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合農業技術センターの試験研究課題「変温管理による低コスト鉢花栽培技術の確立」(H27~29)で、省エネ対策技術の確立を図る。 <p>1 -</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウイルス病 (INSV) の技術対策について、引き続き情報提供と病害発生状況の把握、検討会等を開催する。 <p>1 -</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の経営に合った品種や補完品目の導入、栽培方法等について支援する。 <p>2 -</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場関係者との懇談会や商談会、各種イベントやインフォメーションセンターを通じ、消費動向の情報収集や産地情報、品種特性などを情報提供し販売促進活動を支援する。

対策に向けたスケジュール	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1
<p>1 -</p> <p>-</p> <p>-</p> <p>2 -</p>	<p>技術の開発</p> <p>情報提供、病害発生状況把握、検討会の開催</p> <p>情報提供・栽培技術支援</p>	<p>試験研究成果の普及</p>	<p>情報発信及び販売活動支援</p>	<p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p>